

Hi! from SAGA

Winter 2020 vol 2

By
SUISA ニュースレターチーム
& 佐賀大学国際交流推進センター

門松イベント

門松とは文字通り松の門を意味し、3本の竹と蓆を使用し作られます。それぞれの竹は人間、天国、地球を意味します



佐嘉神社の新年

新年へのカウントダウンをパーティやショッピングモールで親友と過ごすのは若者の間で世界中で共通しているのではないだろうか。しかし日本にいるからにはこの国の伝統に触れてみたいのではないだろうか



佐賀大学マレーシア留学生同窓会の設立

在学中、同じ国の学生と集団生活をしながら家族のような関係だった。いつまでもこの関係を保ちたいと思い、皆を結べる組織を築きたいと考えた



カルチュラルナイト

学生が国ごとのブースを設け、そこで自国の食べ物やスイーツを振舞いました。お土産をあげる生徒もいました



餅つき

餅は餅米をついて作られます。みんなでこたつを囲んでテレビを見ながら餅を食べる光景は日本のドラマや映画に度々登場します



佐賀大学国際交流推進センター

+81-952-28-8169

ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

<http://www.irdc.saga-u.ac.jp/>



門松イベント

お正月は、家族や親戚が集まる素敵な行事です。小さい頃私は毎年クリスマスやお正月がとても楽しみでした。クリスマスキャロルを学校で歌い、あたりはクリスマス一色に染まります。おもちゃがセールになります。かつては祖母の家に集まり、プレゼント交換をし、クリスマスを祝福したものです。年日が経つにつれ、クリスマスに対する感情は徐々に薄れてきました。おそらく、成長し、沢山の新年を迎え新鮮さを失ったからでしょう。しかし、これこそが、正月の飾り付けやイベントが重要な理由だと思います。伝統だからという理由だけでなく、たくさんの思い出を引き出してくれることこそ意味があるからです。

このことは、私がお正月での門松の飾り付けのために呼び出された時にふと頭に浮かびました。ニュースレターチームのジェフリも飾り付けに参加しました。門松とは文字通り松の門を意味し、3本の竹と蓆を使用し作られます。それぞれの竹は人間、天国、地球を意味します。大抵はドアの隅や門に設置され、収穫の神の年神様を迎えます。



佐賀大学で門松イベント

私たちが作った門松は佐賀大学美術館の隣の門に設置されました。竹は唐津市の七山から輸送されたものを使用し、12月の18日から1月の9日まで見られました。

カルチュラルナイト

春休みに入る前にグローバルリーダーズ主催のカルチュラルナイトがありました。

学生が国ごとのブースを設け、そこで自国の食べ物やスイーツを振舞いました。お土産をあげる生徒もいました。今年は、インドネシアのランパーケーキ（ポテトケーキ）、リゾルスフライ（揚げ春巻き）、アメリカのマックアンドチーズ、フィンランドのブルーベリーパイ、タイのプアロイ（ココナッツミルクに餅）、韓国のトッポッキ、日本のたこ焼きなど、たくさんの美味しい料理がありました。

マレーシアの学生は、伝統衣装のヘッドバンドをプレゼントしていました。



カルチュラルナイト 2019

そしてシリアットと呼ばれるインドネシアの格闘技、バリの舞踊、ペナン伝統舞踊、ベトナムの伝統舞踊、佐賀大学のよさこいサークルによるよさこいなど、他のショーも楽しめました。

佐嘉神社の新年

新年へのカウントダウンをパーティやショッピングモールで親友と過ごすのは若者の間で世界中で共通しているのではないだろうか。

しかし日本にいるからにはこの国の伝統に触れてみたいのではないだろうか。神社でカウントダウンをし、年を越すか、眠って朝早く起床し初詣に出かけるかだ。佐嘉神社はこの両方を行うのに最適な場所である。

神社の門で、今年の干支であるねずみの像を見つける。そして参拝を待つ人々の行列が駐車場にまで伸びているのが見える。こんなにも多くの人があるので、待つことのできない人は、朝早く戻って来て参拝することもできる。

しかし、ここにいる人々は参拝のためだけに待っているのではないことがわかる。彼らは、友達や家族とその年の思い出などを語り合い待っている。そんなことをやっているうちに、あつという間に自分が参拝する番が回ってくる。参拝だけではなく、おみくじも醍醐味の一つだ。とてもたくさんの数のみくじ箱が設置されている。普通のおみくじ、愛みくじ、お金みくじなど種類は様々だ。魚釣りみくじなどとても面白いものもある。おみくじには小さなお守りが入っていて、バッグや携帯につけることができる。



佐嘉神社のおみくじ

本殿でやるべきことが終わると、松原神社のねずみの氷の彫刻に目が行く。この氷の彫刻は三日間しか保たないので、見どころだ。深夜になり、一番の大イベントが待っている。有名なアームストロング砲が、佐嘉神社のカウントダウンが終わるとともに放たれるのだ。そして「あけましておめでとう」や、「ハッピーニューイヤー」という言葉がいたるところで聞こえてくる。



佐嘉神社の新年

もう遅いですが、これを読んでくれている読者の皆さん、あけましておめでとうございます。

今年はウイルスにより大変な一年の幕開けとなりましたが、皆さんが健康でいられる一年となりますように願っています。

餅つき

この時期といったら餅ですよね？

餅は餅米をついて作られます。みんなでこたつを囲んでテレビを見ながら餅を食べる光景は日本のドラマや映画に度々登場します。もし留学生でその体験がしたければ、佐賀大学の国際交流を目的とした留学生サークル「LIFE」がその願いを叶えてくれます。毎年新年に LIFE は餅つきを国際交流会館前で開催します。

今年は1月の17日に開催されました。参加した全ての学生が、独特な掛け声とともに餅をついていきます。餅が完成すると、あんこ、砂糖醤油、きな粉、海苔など、各々で色々な食べ方を試しました。



餅つきイベント

休日はどうでしたか？ 直接声を聞くことはできませんが、これを読んでいる人たちは休日を満喫していることと思います。あけましておめでとうございます。去年のように今年も良い年となることを願っています。 それでは春にまた会いましょう。桜が待っています。

佐賀大学マレーシア留学生同窓会

昨年、佐賀大学マレーシア留学生同窓会、Saga University Malaysian Alumni Community (SUMAC) を設立した。長年の夢がやっと叶い、嬉しく思う。

卒業の時、佐賀から離れることを思うと寂しくて悲しかった。在学中、同じ国の学生と集団生活をしながら家族のような関係だった。いつまでもこの関係を保ちたいと思い、皆を結べる組織を築きたいと考えた。皆も同じ夢を持ち、実現しようと話し合った。



佐賀大学ホームカミングデー

しかしながら最初の一步を踏み出せないまま時が経った。ところが、佐賀大学がクアラランブールでホームカミングデー (HCD) を開催されることをきっかけに、友人から OB 会を作ろうと声をかけられ、昔の夢が蘇った。必死で多くの元学生と連絡を取り HCD に参加するよう促した。そうする中で暫定の運営チームも決まり、友人が即時に団体登録を進め、令和元年11月5日に SUMAC が正式に登録された。

色々な苦難や壁があった。暫定の役員を決めるとき、在籍期間が異なり、中には当然お互いを知らない人もいたので両方を知っている私が入り、無事にまとめることができた。これは我々に一つのヒントを与えた。間に入れる人がいたら、円滑に交流できることだ。我々が佐賀大学及び佐賀県とマレーシアの間に入る役、架け橋になれること、これを我々の第一の目的としたい。

SUMAC 成立に伴い、みんなの知恵を絞り、元留学生の活躍がより一層高められる。以前より連絡が取りやすく、会う機会を増やし、佐賀の思い出を語りながら在学の時の仲間意識も継続し、お互いを助け合うようにも望んでいる。又、マレーシアに我々の存在感をアピールし、佐賀大学の知名度も高め、佐賀に興味を持つ人が増えると思う。現在の佐賀大学マレーシア留学生との交流も深めたいと考える。

一人でするなら辛いかもしれないが、会を通じて全員で力を合わせて佐賀大学及び佐賀県と自分の国との良い関係を結ぼう！

カイルディン モハammad ジョハン
2005年佐賀大学工学系研究科修士
SUMAC 幹事

編集 ジェフリ・アーディアンサー、修士1年、知能情報工学科。ピームマ
バット・プアラッパ、芸術地域デザイン学科。中島暁月、修士2年、芸術地
域デザイン学科。